

受 験 番 号

◎ 指示があるまで開かないこと。

平成 23 年 2 月 22 日 午後用

第 62 回 獣 医 師 国 家 試 験

学 説 試 験 問 題 (B)

注 意 事 項

1. 試験問題は、80 問であり、解答時間は 2 時間である。

2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1 問につき二つ以上解答した場合には、そのうちの 하나가正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問81 日本国で獣医師国家試験事務を受け持っている省はどれか。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 厚生労働省 | 2. 文部科学省 | 3. 農林水産省 |
| 4. 外務省 | 5. 国土交通省 | |

正答は「3」であるから、答案用紙の

81 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☐ E 4 ☐ E 5 ☐ のうち E 3 ☐ を横線で、
81 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☐~~ E 4 ☐ E 5 ☐ とマークすれば良い。

〔2〕 答案の作成に当たっては、必ず HB の鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例……  悪い例…    

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡が残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないので注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

問1 未成熟な巨赤芽球が血中に出現する貧血の治療に用いるビタミンはどれか。

- a ビタミン A
- b 葉酸
- c ビタミン B₁₂
- d ビタミン K
- e パントテン酸

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問2 アスピリンの作用に関する記述として正しいのはどれか。

- a 解熱作用を示す。
- b シクロオキシゲナーゼ（COX）を可逆的に阻害する。
- c COX-2を選択的に阻害する。
- d 強い内臓痛にも十分な鎮痛効果を示す。
- e 血小板凝集に対する効果は用量により異なる場合がある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問3 Na⁺チャンネルに作用し神経伝導を阻害して殺虫効果を示すのはどれか。

- 1. ジクロロボス
- 2. カルバリル
- 3. アレスリン
- 4. フィプロニル
- 5. ルフェヌロン

問4 微小管のチューブリンと結合してこれを可溶化し、腫瘍細胞の増殖を抑制する薬はどれか。

1. シクロホスファミド
2. 6-メルカプトプリン
3. ドキソルビシン (アドリアマイシン)
4. ビンカルカロイド
5. シスプラチン

問5 下痢治療薬として処方されるのはどれか。

- a 次硝酸ビスマス
- b タンニン酸
- c 硫酸マグネシウム
- d カルボキシメチルセルロースナトリウム
- e ヒマシ油

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問6 脳炎をおこす疾患とその特徴的な組織像の組合せとして正しいのはどれか。

- | 疾患 | 組織像 |
|-----------|-----------|
| a リステリア症 | 微小膿瘍 |
| b オーエスキー病 | ネグリ小体 |
| c 日本脳炎 | ポリグリコサン小体 |
| d 鶏脳脊髄炎 | 神経細胞の空胞変性 |
| e 犬ジステンパー | 脱髄 |

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問7 腎病変に関する記述として正しいのはどれか。

- a 膜性腎症では線維素性半月体が形成される。
- b エチレングリコール中毒では尿細管にシュウ酸塩結晶がみられる。
- c 中毒性急性尿細管壊死は近位尿細管に起こることが多い。
- d 腎臓に生じる梗塞は大部分が出血梗塞である。
- e 鎮痛薬性腎症の壊死性病変は糸球体に生じる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問8 大葉性肺炎（線維素性肺炎）の病理学的な推移として最も適当なのはどれか。

- 1. 充血期→肉変化→黄色肝変期→吸収期→赤色肝変期→器質化
- 2. 充血期→黄色肝変期→吸収期→肉変化→赤色肝変期→器質化
- 3. 充血期→黄色肝変期→吸収期→赤色肝変期→肉変化→器質化
- 4. 充血期→赤色肝変期→黄色肝変期→吸収期→肉変化→器質化
- 5. 充血期→吸収期→赤色肝変期→肉変化→黄色肝変期→器質化

問9 アジュバントに関する記述として正しいのはどれか。

- a 細胞性免疫の誘導は増強できない。
- b 生ワクチンによる免疫誘導の増強に効果的である。
- c ペプチドワクチンによる免疫誘導に対しては効果がない。
- d 抗原の放出を持続させることにより作用を発揮する。
- e 水酸化アルミニウムや鉱物油はアジュバント効果を有している。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問10 ピコルナウイルス感染によって起こる疾患の組合せとして正しいのはどれか。

1. 口蹄疫 —— 水胞性口炎 —— 鶏脳脊髄炎
2. 口蹄疫 —— 豚水疱病 —— 鶏脳脊髄炎
3. 口蹄疫 —— 水胞性口炎 —— 豚水疱疹
4. 豚水疱病 —— 鶏脳脊髄炎 —— 豚水疱疹
5. 豚水疱病 —— 水胞性口炎 —— 豚水疱疹

問11 ワクチンにより制御された最初のウイルス性腫瘍疾患はどれか。

1. 牛白血病
2. 牛の趾乳頭腫症
3. 伝染性ファブリキウス嚢病
4. 鶏白血病
5. マレック病

問12 犬ジステンパーに関する記述として正しいのはどれか。

- a 原因ウイルスはパラミクソウイルス科バリセロウイルス属である。
- b ウイルス感染後、発熱とともに末梢血リンパ球の増加が認められる。
- c 原因ウイルスは犬以外の食肉目の動物にも病原性を示す。
- d 神経症状を呈した場合は予後不良である。
- e 不活化ワクチンの開発によって本疾患の発生は激減した。

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

問13 豚赤痢に関する記述として正しいのはどれか。

- a 家畜伝染病（法定伝染病）に指定されている。
- b 発生は生後2週以内の幼豚に集中する。
- c 病変は主に空腸と回腸に形成される。
- d 発症には病原体に加え腸内フローラが関与する。
- e 病原体は血液寒天培地において β 溶血を示す。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問14 豚の萎縮性鼻炎の原因菌はどれか。

- a *Erysipelothrix rhusiopathiae*
- b *Haemophilus parasuis*
- c *Staphylococcus hyicus*
- d *Bordetella bronchiseptica*
- e *Pasteurella multocida*

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問15 豚コレラの類症鑑別として最も重要な疾患はどれか。

- a 豚丹毒
- b 口蹄疫
- c 豚インフルエンザ
- d ニパウイルス感染症
- e トキソプラズマ病

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問16 病原体の失活化方法に関する記述として正しいのはどれか。

- a プリオンには 121 ℃ 15 分の高圧蒸気滅菌が有効である。
- b 口蹄疫ウイルスには強酸が有効である。
- c 結核菌にはホルムアルデヒドが有効である。
- d 芽胞菌には両性界面活性剤が有効である。
- e インフルエンザウイルスには次亜塩素酸ナトリウムは無効である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問17 伝染病とその病原体分離に適した発育鶏卵接種法の組合せはどれか。

- | 伝染病 | 接種法 |
|------------|--------------|
| a 鳥インフルエンザ | ——— 尿膜腔内接種 |
| b ニューカッスル病 | ——— 羊膜腔内接種 |
| c オーム病 | ——— 漿尿膜（上）接種 |
| d 鶏痘 | ——— 卵黄嚢内接種 |
| e 伝染性喉頭気管炎 | ——— 漿尿膜（上）接種 |

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問18 生物多様性の保全と直接関連する国際条約はどれか。

- a モントリオール議定書
- b バーゼル条約
- c ラムサール条約
- d カルタヘナ議定書
- e ストックホルム条約（POPs 条約）

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問19 食品衛生上の指標細菌に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 一般細菌数は標準寒天培地を用いて計測する。
2. 大腸菌群の試験法には最確数法と集落計数法がある。
3. 糞便系大腸菌群数の測定には EC テストが採用されている。
4. 汚染指標の大腸菌は IMViC 試験の成績で定義されている。
5. 総菌数と一般細菌数は通常ほぼ同じ値である。

問20 我が国において 2004 年度以降のウイルス性食中毒で事件数・患者数が最も多いのはどれか。

1. ロタウイルス食中毒
2. アデノウイルス食中毒
3. A 型肝炎ウイルス食中毒
4. ノロウイルス食中毒
5. アストロウイルス食中毒

問21 下痢性貝毒中毒の原因となる毒成分はどれか。

1. サキシトキシン
2. スルガトキシン
3. ジノフィシストキシン群
4. ベネルピン
5. シガトキシン

問22 クロロフルオロカーボンが紫外線により光解離してある原子が発生する。この原子が主要因となって起きる環境問題はどれか。

1. 砂漠化
2. オゾン層破壊
3. 酸性雨
4. 熱帯雨林の減少
5. 生物多様性の減少

問23 水質検査に関する記述として正しいのはどれか。

- a SS が上昇すると光の透過率が低下する。
- b 水中の有機物が少ないと DO も低い。
- c BOD が高いほど栄養豊富で魚介類の生息に適している。
- d COD を上昇させる無機物質は存在しない。
- e n-ヘキサン抽出物には動植物油脂、ワックスなどが含まれる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問24 疾患とその要因の間に因果関係が成立するための必要条件はどれか。

1. 関連の一致性
2. 関連の強固性
3. 関連の時間性
4. 関連の特異性
5. 関連の整合性

問25 既存の資料を利用し、異なる集団（地域）間における曝露や疾患の発生頻度の関係を比較することにより、疾患の危険因子を探る疫学手法はどれか。

1. 生態学的研究
2. 横断研究
3. 症例対照研究
4. 介入研究
5. コホート研究

問26 サルからヒトに感染する人獣共通感染症はどれか。

- a ウエストナイル熱
- b 細菌性赤痢
- c Bウイルス感染症
- d ハンタウイルス肺症候群
- e ライム病

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問27 コウモリがレゼルボアとされる人獣共通感染症はどれか。

- a 腎症候性出血熱
- b ラッサ熱
- c リンパ性脈絡髄膜炎
- d 狂犬病
- e ニパウイルス感染症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問28 豚が関与する人獣共通感染症はどれか。

- a 類丹毒
- b ブルセラ症
- c ペスト
- d ヘンドラウイルス感染症
- e 日本紅斑熱

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問29 疾患のサーベイランスに関する記述として誤っているのはどれか。

- 1. 疾患に関する情報を継続的に収集、解析し、関係者に還元する。
- 2. 感染症以外に先天異常、薬物残留、環境汚染の監視等にも応用される。
- 3. 通常個人ではなく集団を対象とする。
- 4. 受動的サーベイランスと能動的サーベイランスがある。
- 5. 予想サーベイランスと遡及サーベイランスがある。

問30 疾患とその原因原虫の組合せとして正しいのはどれか。

- | 疾患 | 原因原虫 |
|----------------|------------------------|
| 1. 瘧疾 | Trypanosoma theileri |
| 2. ダニ熱 | Theileria parva |
| 3. 黒熱病（カラアザール） | Histomonas meleagridis |
| 4. 鶏マラリア | Plasmodium gallinaceum |
| 5. スーラ（スルラ） | Trypanosoma burcei |

問31 疾患とその原因寄生虫の組合せとして正しいのはどれか。

- | 疾患 | 原因寄生虫 |
|------------|---|
| 1. 肺砂粒症 | 馬円虫 <i>Strongylus equinus</i> |
| 2. 溷睛虫症 | 犬回虫 <i>Toxocara canis</i> |
| 3. 鼻鏡白斑症 | 咽頭糸状虫 <i>Onchocerca gutturosa</i> |
| 4. 肝白斑症 | 肝蛭 <i>Fasciola</i> sp. |
| 5. ワヒ病・コセ病 | 広東住血線虫 <i>Angiostrongylus cantonensis</i> |

問32 畜産で用いられる脱臭・防臭法とその記述の組合せとして正しいのはどれか。

- a 吸着法 ———— 吸着物質の再生利用はコスト高または困難である。
- b 堆肥脱臭法 ———— 運転コストが極めて高価となる。
- c 活性汚泥脱臭法 ———— 低濃度の臭気ガスには不適である。
- d 空気希釈法 ———— 高濃度の臭気ガスに適している。
- e オゾン酸化法 ———— 硫黄系臭気成分に効果がある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問33 種卵、初生雛および幼雛の管理衛生に関する記述として正しいのはどれか。

- 1. 有精卵は孵卵開始後 21 日を経過して孵化する。
- 2. コクシジウム対策のため孵化直後から湿度 40 %以下に維持する必要がある。
- 3. 室温を一定に保つため 5 週齢までは換気を行わないようにする。
- 4. 寒冷ストレスを与えないため 5 週齢までは室温を一定に保つ。
- 5. 動物愛護の観点から断喙は行わない。

問34 微量元素とその過剰症の組合せとして誤っているのはどれか。

- | 元素 | 過剰症 |
|-----------|-------------|
| 1. マグネシウム | —— グラステタニー |
| 2. 銅 | —— ヘモグロビン血症 |
| 3. モリブデン | —— 下痢 |
| 4. セレン | —— 暈倒病 |
| 5. フッ素 | —— 斑状歯 |

問35 乳牛のフェーズフィーディングに関する記述として適当なのはどれか。

- a 泌乳前期は削瘦牛に油脂含量の高い飼料を給与しない。
- b 泌乳中期は穀類の給与を避ける。
- c 泌乳後期はボディコンディションスコアを 3.5 ～ 4.0 とする。
- d 乾乳前期は粗飼料を給与する。
- e 乾乳後期は濃厚飼料を通常より多くする。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問36 尿結石を起こさせる可能性がある有毒植物はどれか。

- a ギンギシ
- b セタリア
- c ハシリドコロ
- d ネジキ
- e ユズリハ

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問37 牛の放牧に関する記述として正しいのはどれか。

- a 放牧未経験の育成牛は放牧馴致が必要である。
- b まき牛は交配適期を選ばないので受胎率は低い。
- c 放牧地は広いので待避場所は不要である。
- d 群れとして行動するので個体の監視は必要ない。
- e 放牧前に健康診断と予防接種が必要である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問38 日本の畜産環境問題として苦情が多いのはどれか。

- a 悪臭
- b 騒音
- c 害虫
- d 農作物への影響
- e 水質汚濁

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問39 馬パラチフスに関する記述として正しいのはどれか。

- a 法定伝染病に指定されている。
- b 主な感染経路は放牧中の外傷である。
- c 妊娠馬では流産を起こす。
- d 原因菌は *Salmonella Abortusequi* である。
- e 我が国ではこれまで発生したことがない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問40 ビタミンAに関する記述として正しいのはどれか。

- a 牛では第一胃内で β -カロテンからビタミンAに変換される。
- b 肝臓に蓄積される。
- c 牛では欠乏症で筋間水腫を生じる。
- d 子牛では過剰症で脂肪肝を生じる。
- e 脂肪前駆細胞の分化を促進する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問41 犬における疾患とその診断に有効な検査法の組合せとして適切なのはどれか。

疾患	検査法
1. 副腎皮質機能亢進症	——— TSH 刺激試験
2. 急性膵炎	——— 抗核抗体試験
3. 膵外分泌不全	——— 血清トリプシン様免疫活性物質（TLI）測定
4. 全身性エリテマトーデス	——— テンシロンテスト（塩化エドロフォニウム投与反応）
5. 重症筋無力症	——— ACTH 刺激試験

問42 表皮萎縮を特徴とする犬の疾患はどれか。

- 1. 皮膚糸状菌症
- 2. ノミアアレルギー性皮膚炎
- 3. アトピー性皮膚炎
- 4. クッシング症候群
- 5. 表皮向性リンパ腫

問43 犬パルボウイルス性腸炎の治療と予後に関する記述として適切なのはどれか。

- a できるだけ早期に水和と電解質補正を目的とした輸液療法を開始する。
- b 低タンパク血症が顕著である場合には血漿輸注や膠質液投与を考慮する。
- c 止瀉薬投与による下痢の治療が最も重要である。
- d ウイルス性疾患なので抗菌薬の投与は通常必要ない。
- e 白血球数が重度に減少している場合には治癒する可能性はほとんどない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問44 尿細管性タンパク尿を呈する疾患はどれか。

- 1. 糖尿病
- 2. ファンコーニ症候群
- 3. 全身性高血圧症
- 4. 犬糸状虫症
- 5. ブルセラ症

問45 ラクツロースを用いた治療が適切なのはどれか。

- a 低血糖性発作
- b 肝性脳症
- c 便秘
- d 嘔吐
- e 急性膵炎

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問46 犬の中樞性尿崩症に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 下垂体後葉からのバソプレッシン分泌の不足が主な原因である。
2. 低張～等張尿である（尿比重 1.012 以下）。
3. 罹患動物は 1 日 100 ml/kg 以上の著明な多飲を呈することが多い。
4. 水制限試験を行うことで腎性尿崩症と鑑別できる。
5. 治療には一般に酢酸デスモプレッシンが点眼あるいは点鼻で用いられる。

問47 犬と猫において単クローン性 γ グロブリン血症を呈する可能性があるのはどれか。

- a 慢性リンパ球性白血病
- b 肥満細胞腫
- c 子宮蓄膿症
- d 猫免疫不全ウイルス感染症
- e エールリキア症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問48 犬の腸リンパ管拡張症に関する記述として適切なのはどれか。

- a 多くは特発性である。
- b ヨークシャー・テリアは好発犬種の 1 つである。
- c ほとんどの症例で大腸性下痢がみられる。
- d 成熟リンパ球を多数含む腹水の存在が診断の助けとなる。
- e 治療として高脂肪食の給餌が推奨される。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問49 フォン・ヴィレブランド病で一般的に認められる検査所見として適切なのはどれか。

1. 出血時間の延長
2. 血小板数の減少
3. プロトロンビン時間の延長
4. 血漿フィブリノーゲン量の低下
5. 血中フィブリン／フィブリノーゲン分解産物の増加

問50 骨髄瘍を示す病態として一般的なのはどれか。

- a 急性リンパ芽球性白血病
- b 骨髄線維症
- c 汎白血球減少症
- d 赤芽球瘍
- e 骨髄炎

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問51 狂犬病に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 病原体は一部の国を除き現在も世界的に分布している。
2. 罹患動物による咬傷により感染することが多い。
3. 潜伏期間は多くの場合2～8週間とされているが症例により様々である。
4. 前駆期には行動の変化や眼瞼・角膜反射の緩徐化が認められることがある。
5. 血液を用いた遺伝子検査によって確定診断が可能である。

問52 真性赤血球増加症に関する記述として適切なのはどれか。

1. 血漿タンパク濃度が高い。
2. 動脈血酸素分圧の低下が原因である。
3. 血清エリスロポエチン濃度が高い。
4. 腎臓の腫瘍をとמונau。
5. 治療薬として一般にヒドロキシウレアが用いられる。

問53 牛の第四胃変位に関する記述として正しいのはどれか。

- a 左方変位では第四胃が捻転して第一胃と左腹壁との間に変位する。
- b 右方変位では第四胃が第一胃と第二胃との間に変位して重篤な症状を示す。
- c 左方変位は右方変位より発生が多く分娩後2週以内に多発する。
- d 第四胃捻転牛の治療では直ちに開腹手術と大量の輸液を行う。
- e 右方変位の治療には牛体回転法を行いその後経過を観察する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問54 牛の乳熱に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 初期症状は分娩後の一過性の発熱である。
2. カルシウムの消化管からの吸収低下は本疾患の原因の1つである。
3. 分娩前の給与飼料に陰イオン塩を添加すると予防効果がある。
4. 治療は直ちにボログルコン酸カルシウム剤を投与する。
5. 起立不能が持続すると筋麻痺のためにダウンー症候群に移行しやすい。

問55 心臓ファロー四徴症に特徴的な異常はどれか。

- a 右心室壁肥厚
- b 左心室壁肥厚
- c 大動脈狭窄
- d 心房中隔欠損
- e 心室中隔欠損

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問56 犬と猫における肝臓の超音波検査に関する記述として正しいのはどれか。

- a どの肋間からも肝臓を観察することはできない。
- b 肝静脈には通常高エコーの縁取りがみられる。
- c 正常な胆嚢内はほぼ無エコーである。
- d 胆石は通常音響陰影をともなう高エコーの構造物として胆嚢内に認められる。
- e 少量でも腹水が貯留している場合には肝臓の描出は極めて困難となる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問57 犬糸状虫症の犬に通常は認められない画像所見はどれか。

- 1. X線検査における肺動脈の拡大蛇行と切りつめ像
- 2. X線検査における右心室拡大
- 3. X線検査における後大静脈の狭小化
- 4. 超音波検査における肺動脈内虫体像
- 5. 超音波検査における肺静脈拡大とうっ血

問58 馬の後肢の運動失調の原因となるのはどれか。

- a 齧癖
- b 項腫
- c ワラビ中毒
- d ウォブラー症候群
- e タマネギ中毒

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問59 血管外漏出時の周囲組織傷害作用が最も強い抗腫瘍薬はどれか。

- 1. ドキソルビシン（アドリアマイシン）
- 2. シクロホスファミド
- 3. メトトレキサート
- 4. シトシンアラビノシド
- 5. L-アスパラギナーゼ

問60 犬の会陰ヘルニア修復術時に利用されることが多い筋肉はどれか。

- a 中殿筋
- b 内閉鎖筋
- c 尾骨筋
- d 腸腰筋
- e 梨状筋

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問61 犬の特発性乳び胸に関する記述として正しいのはどれか。

1. 胸水中の有核細胞は一般に非変性好中球が主体である。
2. 胸水の中性脂肪値は血清よりも低い。
3. 脂質が失われるため高脂肪食の給餌が推奨される。
4. 胸管結紮術は通常左側第8～10肋間を開胸して実施する。
5. 外科的治療の一つとして心膜切除術がある。

問62 犬の胃拡張・捻転症候群に関する記述として最も適切なのはどれか。

1. 小型犬には見られない。
2. 食餌回数を増やすと発生の危険性が高くなる。
3. 空腹時に発生しやすい。
4. 嘔吐でなく吐出が見られることが多い。
5. 尾側から見ると胃は反時計回りに回転していることが多い。

問63 犬のレッグ・ペルテス病に対する外科的治療法として最も適当なのはどれか。

1. 三点骨盤骨切り術
2. 転子間骨切り術
3. 大腿骨頭および骨頸切除術
4. 経関節ピン固定法
5. De Vita ピン法

問64 犬の尺骨内側鉤状突起離断に関する記述として正しいのはどれか。

- a 成長期の大型犬における手根関節跛行の主な原因の一つである。
- b 続発する変形性関節症は患肢の機能を低下させる。
- c 単純X線検査のみでは確定診断が難しい。
- d 本疾患発症部位は構造的に関節鏡検査が不可能である。
- e 尺骨の骨切り術により通常患肢の機能を完全に回復させることができる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問65 犬の汎骨炎に関する記述として適当なのはどれか。

- a 主に長骨に発症し自然に寛解する一時的な疾患である。
- b 若齢の小型犬に多くみられ大型犬にはほとんどみられない。
- c 突然の跛行がみられるが触診による骨の疼痛は認められない。
- d 発症後 10 日頃から病変部の骨にX線透過像がみられる。
- e 骨髓の脂肪細胞の変性が特徴である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問66 4ヵ月齢の中型犬に変位した胫骨近位骨端板の骨折が認められた。最も適切な手術法はどれか。

- 1. 骨プレートおよびスクリューによる固定
- 2. インターロッキング髓内釘による固定
- 3. 髓内ピンもしくはキルシュナーワイヤーによる固定
- 4. I型創外固定装置による固定
- 5. テンションバンドワイヤーによる固定

問67 犬膝関節の半月損傷に関する記述として適切でないのはどれか。

1. 跛行を起こす損傷はほとんどが前十字靭帯断裂にともなって生じる。
2. 最も多い損傷タイプはバケツ柄型断裂である。
3. 膝関節不安定時には外側半月に比較して内側半月が損傷しやすい。
4. 単純X線検査により診断可能である。
5. 半月中心部が損傷した場合の外科的治療として部分切除を行う。

問68 牛において左側臍部切開によるアプローチが適当なのはどれか。

- a 第一胃食滞の胃内容物の除去
- b 第二胃内金属異物の摘出
- c 第四胃捻転の整復固定
- d 空回腸重積の切除と腸吻合
- e 盲腸捻転の整復

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問69 牛の子宮捻転に関する記述として正しいのはどれか。

- a 主に妊娠末期から分娩中に発生する。
- b 子宮角の中央付近で捻転が起こることが多い。
- c 通常激烈な腹痛をともなう。
- d 母体回転法による整復では母体を捻転とは逆向きに回転させる。
- e 膣検査により診断が可能である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問70 胎子ミイラ変性に関する記述として正しいのはどれか。

- a 卵巣は両側とも静止状態になっている。
- b 馬で発生が多く牛では少ない。
- c 胎水は吸収されず胎水量は変化しない。
- d 子宮内は無菌である。
- e 牛では子宮動脈の震動は消失する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問71 精液中の果糖（フルクトース）量が著しく低い牛において異常が疑われる器官として最も適当なのはどれか。

- 1. 前立腺
- 2. 精囊腺
- 3. 精管
- 4. 精巣上体
- 5. 尿道球腺

問72 牛の尿腔に関する記述として適切でないのはどれか。

- 1. 若い未経産牛に発生することが多い。
- 2. 尿が腔深部に逆流して貯留する。
- 3. 子宮内膜炎を継発することがある。
- 4. 腔洗浄により受胎が可能となることが多い。
- 5. 尿道延長術は治癒に効果がある。

問73 牛においてブルセラ病による流産が最も生じやすい時期はどれか。

1. 妊娠1～2ヵ月
2. 妊娠3～4ヵ月
3. 妊娠6～9ヵ月
4. 妊娠末期～分娩予定日前後
5. すべての時期

問74 黄体形成不全の治療薬として一般的に用いられるのはどれか。

- a hCG 製剤
- b PMSG (eCG) 製剤
- c プロジェステロン製剤
- d エストロジェン製剤
- e GnRH 製剤

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問75 マウスに関する記述として正しいのはどれか。

1. 安静時の心拍数は180～340回/分である。
2. 腸管の長さは体長の約3倍である。
3. 歯は乳歯から永久歯に生え換わる。
4. 子宮は双角子宮である。
5. 左肺は分葉していない。

問76 近交系マウス系統である AKR（白毛色）と C57BL/6（黒毛色）を交配すると、雑種 2 代目 F₂ の子マウスの毛色の割合はどれか。

1. 全て白
2. 白：黒 = 3：1
3. 白：黒 = 1：1
4. 白：黒 = 1：3
5. 全て黒

問77 魚類の真菌性肉芽腫症に関する記述として正しいのはどれか。

- a 病原体は *Saprolegnia parasitica* である。
- b アユに特異的に感染する。
- c 分布は日本に限られる。
- d 感染部位は主に体側筋肉組織である。
- e 病変が進行すると潰瘍を呈する。

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

問78 魚類に貧血を起こす疾患はどれか。

1. トラフグのヘテロボツリウム症
2. マダイのクビナガコウトウチュウ（鉤頭虫）症
3. ブリの奄美クドア症
4. ウナギのエドワジエラ症
5. 海水魚のリンホシスチス病

問79 病原体と罹患魚種の組合せとして正しいのはどれか。

病原体	罹患魚種
1. <i>Glugea plecoglossi</i> —————	ブリ
2. <i>Microsporidium seriola</i> —————	ウナギ
3. <i>Lactococcus garvieae</i> —————	コイ
4. <i>Ichthyophonus hoferi</i> —————	ニジマス
5. <i>Flavobacterium columnare</i> —————	ヒラメ

問80 魚類のウイルス性疾患とその病原体が属するウイルス科の組合せとして正しいのはどれか。

ウイルス性疾患	ウイルス科
a ニジマスの伝染性腭臓壊死症 ———	ラブドウイルス科
b コイの春ウイルス病（SVC）———	ラナウイルス科
c マハタのウイルス性神経壊死症——	ヘルペスウイルス科
d ブリのウイルス性腹水症—————	ビルナウイルス科
e ヒラメのリンホシスチス病————	イリドウイルス科

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

